

点検・評価 長所と問題点

インターネットを介して就職に関する有益な情報を提供しているが、セキュリティの面で、学外からのアクセスには制約を設けている。現在、学外からアクセス可能な情報は、合同企業説明会情報、就職支援行事、就職活動体験記のみである。就職活動中の学生が最も必要とする優良企業情報、求人情報、企業説明会情報へのアクセスは学内からに限定されており、リアルタイムの情報提供に問題がある。

将来の改善・改革に向けた方策

優良企業情報、求人情報、企業説明会情報についても、学外からアクセスできるように、システムを改善していく必要がある。これにより、就職活動中の学生にとって、自宅から有益な情報の取得が可能となり、就職活動を効率的に進めることが出来る。

4 課外活動

(1) 学生の課外活動に対して大学として組織的に行っている指導、支援の有効性

現状の説明

本学が学生の課外活動に対して、大学として組織的に行なっている指導には、おむね次のものがある。

- ・留学生を小学校や高等学校からの依頼で派遣し、生徒たちと交流させている。
(年に4～5回)
- ・留学生に対するお茶とお花の指導をボランティアの地域住民に依頼している。
- ・学園祭において来場者を増やし、学生の士気の高揚を図るため、一昨年からJR等の駅前における街頭宣伝に音楽団体を同行させ、演奏とビラ配付を実施している。そのほか宣伝活動の一環として、地域の祭やイベントに参加し、学園祭の宣伝を行っている。また近隣住民に呼びかけ、学園祭の野外ステージ及びフリーマーケットにも参加してもらっている。さらに介護施設のバザーにボランティアで学園祭の実行委員を派遣するなどして、できるかぎり地域との一体化に努めている。
- ・近隣住民の主催するコンサートへの出演依頼に応じて、音楽団体を参加させ、盆踊り大会や地域の祭のさいには、「よさこいソーラン同好会」を出演させている。昨年度、千葉商工会議所から千葉駅前「ワゴンギャラリー」への参加要請があり、課外活動団体及びゼミを参加させた。
- ・毎年12月にスポーツ大会を実施している。休講措置をとらず、雨天時の対応、授業なども考慮して、屋内でできる「バレーボール大会」、加えて一昨年からは学生会館の多目的ホールを使って「卓球大会」も実施している。それぞれの大会とも、学生が運営するように指導している。昨年の参加チームは、男女合せてバレーボールが19チーム、卓球が15チームであった。

- ・「学友会」組織の構築

昨年度から、課外活動団体を束ねる「学友会」を立ち上げた。教職員及び学生から会費を徴収し、それを運動部、文化部、学友会の各行事に分配することになっている。「学友会」は学友会総務部の学生が中心となり、教職員の役員とともに会の運営にあたっている。対象となる課外活動団体とその人員は、運動7部174名、文化10部207名、同好会31団体754名、翔風祭実行本部45名、学友会総務部14名の合計1,194名である。

- ・学園祭のイベントとして、一昨年に結成された「よさこいソーラン同好会・情喜源（じょうきげん）」が、農大（世田谷・厚木・オホーツクキャンパス）及び東京理科大学の「よさこいソーラン同好会」の学生たちを招待して演舞を行った。

- ・「強化種目（部）」として指定されている指定部は、現在のところ硬式野球部（平成12年度から）だけであるが、今後これに刺激を受けて、力をつけた団体にも指定枠を広げる予定になっている。硬式野球部は、地域の少年野球大会を主催し、優勝チームには「学長杯」を授与するなど地域貢献の活動も行っている。

- ・「運動選手特待生」の制度化。平成14年度に第一種（入学金、授業料、実習演習費、整備拡充費及び学生厚生費を免除）1名、第二種（授業料免除）1名でスタートしたが、平成15年度からは第二種を2名に増やした。

点検・評価 長所と問題点

学生会館の完成に伴い、大学祭を中心とする課外活動は活性化してきているが、まだまだ不十分なところがある。一般学生の滞校時間をさらに伸ばすような工夫が課題として残されている。

将来の改善・改革に向けた方策

近い将来の課題として、硬式野球部が千葉県大学野球連盟1部リーグで優勝し、全国大会に出場することになると、課外活動全体の起爆剤になるであろう。それとともに発足したばかりの「学友会」の活動を軌道に乗せて、課外活動の底上げをすることが急務となっている。

【大学院の学生生活への配慮】

1 学生への経済的支援

(1) 奨学金その他学生への経済的支援を図るための措置の有効性、適切性

現状の説明

本大学院には、人物、学業とともに優秀な学生に対し、経済援助を行うことにより、学術研究の奨励と有為な人材育成に資することを目的として大学院奨学生制度がある。